

ビジネスシーンをスマートに駆ける。バイクはそのためのマストアイテム！



urbanism スーパーライトウィンタージャケット

¥22,050 (ブラック/カモは¥24,150)

サイズ: M~LB

カラー: ブラック/ブルーグラデーション、ブラック/レッド、ブラック/グリーン、ブラック/カモ(LED)

その他: 透湿防水素材使用、止水ファスナー装備、肩、肘、脊髄通気メッシュプロテクター標準装備、背部リフレクター採用

問) ジェアンプル TEL.050-3694-8191 <http://www.j-ample.com>



Honda Original Helmet

RE5

¥24,150

サイズ: M~L

カラー: フェースシルバーメタリック、パールスパークリングブラック、パールビュリタンホワイト

問) ホンダお客様相談センター

TEL.0120-086819 <http://www.honda.co.jp/motor/>

Honda CLASSICS GORE-TEX® ウィンテージII W ヒートグローブ

¥10,290

サイズ: M~LL

カラー: ベージュ、グレー、ブラウン

その他: ミニカイロを甲側、掌側共に挿入可能

問) ホンダお客様相談センター

TEL.0120-086819 <http://www.honda.co.jp/motor/>



できるビジネススマンは 移動手段もスマートに！

仕事をバリバリこなすビジネススマンなら、移動手段もスマートにこなしたい。しかし、満員電車や渋滞路を走る車では、その希望は叶えられないだろう。それなら、バイクをビジネスツールのひとつとして取り入れてみるのも悪くない。ここで提案したいのはあくまでもスーツ着用が義務づけられているビジネススマンの移動手段ということだが、いわゆるギア付きバイクにスーツ姿で跨がるのは現実的に無理もある(そういうスタイルも悪くはないが)。しかし、スクーターならばそういった問題も解決してくれるはずだ。両足を揃えて乗るステップスルー構造なので、シワを気にすることもなければ、ギアをチェンジする必要もないので靴も汚れない。シート下には収納スペースも用意されているので、ビジネスバッグはここに放り込んでおけばいい。唯一懸念されるのがスピードとパワーだが、ホンダからリリースされたばかりのリード125という最適なモデルもあるので、車体の実用性はかなり期待できる。

ビジネスシーンを快適にする車体選びはこれでバッチリだが、この車体に合わせて着用するアウターにも最適なものを選びたい。よくありがちではあるが、通勤にバイクを使っている人が選ぶものは、ファッション性や機能性について、ほぼ考えられていないものが多い。百歩譲って、機能性は考慮されていたとしても、スーツとの相性はゼロに等しいの

が現実。バイクでのスマートな通勤を目指すならば、ビジネススマンにとってこのアウター選びは大きな課題だ。そこで選びたいのが、ジェアンプルからリリースされているアーバニズムである。「サイクルウェアのスタイリッシュさと、オートバイ用ウェアの性能を兼ね備えた都市を疾走するライダーのためのウェアブランド」というブランドコンセプトのもと開発されたジャケットは、非常にアーバンな雰囲気ですーツの上にもぴったりシルエット。軽量かつ機能的な透湿防水素材を使用し、ポケット類も充実しているのでバイク用ウェアとしての機能性は十分兼ね備えている。さらにブラック/カモのカラーはLEDファスナーを採用するなど、細かい装備も面白い。

また、手元のお洒落に気を配るのもビジネススマンならば当然の嗜み。ジャケットやバイクにアーバンな雰囲気のものを選んだならば、グローブ選びにもひと手間かければ完璧だ。ありがたいことに、グローブに関しては素材やシルエット、さらにはカラーリングまで様々なタイプが揃うので、自分好みの1品を見つけるもの難しくない。他にはヘルメットがあるが、こちらはTPOをわきまえたものをチョイスしておけば大きな問題はないはず。これらをビジネスツールのひとつと捉え、できる男を演出して欲しい。バイクを降りた後に、乱れた髪型をセットするためのブラシとヘアワックスは常時持参しておくの言うまでもない。もちろんチェックはミラーでスマートに済ませよう。

Business Style

MODEL : IJICHI WATARU

